



# さかさ通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互さまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかさ通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。

おかげさまで、昨年の10月をもって一年間の議長任期を無事に終えました。本当にありがとうございました。またこれからは以前と変わらず、情報の受発信に努めてまいります。と思っています。

さて、今回のさかさ通信は昨年の12月議会の内容を中心にお届けいたします。

## 議員報酬カットの

### 提案は否決!

12月議会で議会議案を提案させていただきました。

#### 「議員報酬の削減」

本来ならば、議会内部で調整し議案を一本化すべきですが、今回はまとまりませんでしたので、同じ案件に対して2つの議案が提出されるという異例の事態となりました。一つは私から、もう一つは渡辺議員から提案されました。

【上甲案】 議員報酬5%カット、1月1日から議員任期終了まで(効果1530万円)

【渡辺議員案】 議員報酬10%カット、1月1日から9月30日まで、以降はその都度検討(効果額835万円)

この2案です。私の案の方の提案理由(議場で話した原稿の抜粋)を載せさせていただきます。

阪南市行財政構造改革プランによる市民サービスの低下、および市民への負担を鑑みた時、市民への十分な説明と、市民の十分な理解が必要です。加えて、市の損失を伴う旧家電量販店の売却においては、その妥当性を十分に協議したうえで着実に進め、市民への徹底した情報公開に努めていかなければなりません。

これらを総合的に、また市民目線で見据えた時、議会は、その姿勢を明確に示す必要があります。

ここに、阪南市議会における「市の将来を前向きに責任もって進める決意」として、議員報酬を削減する議案を提案いたします。

この議案の採決については特殊で、両方に賛成、両方に反対することもできません。ただし、片方が決まった時点で、もう片方は聞かない「一事不再議」の原則が適用されます。

まず、【渡辺議員案】10%案が賛成少数(賛成は浅井議員、岩室議員、角野議員、渡辺議員)で否決されたあと、【上甲案】5%案も賛成少数(賛成は中谷議員、中村議員、福田議員、二神議員、山本議員、上甲)で否決されました。

「10%は否決になったけど、せめて5%削減だけでもとりあえず決めておいて

て、それ以降は改めて審議しよう」となるのが一般的な感覚かと私は捉えているのですが、些か残念です。このような歩み寄りもできないのに「もつと議論できる議会を」とは、少々理解に苦しみます。話し合い、議論しても決まらない場合、

- (1)まず合意できるところまで進む
- (2)もつと議論する

このどちらかが合意形成への道だと、今一度全体として意識しなおすべきです。



どうお感じになるかは皆さんにお任せいたします。頑張りましたが、議員報酬は削減されず、1月からもそのままです。

職員給与(管理職を除く大部分)も削減されることなく持ち越し。この状態のまま1月下旬から始まるタウンミーティング、市からの行財政構造改革プランの市民説明に突入します。市民説明では市民の皆さんに負担や不便をお掛けするお願いをします。



ほぼ毎日更新中!

<http://mac-joe.net/>

阪南市のお得情報、イベント、  
こんなこと知りたかった、満載!!



上甲誠市政報告座談会

さかそう会

【毎月】開催してます。

第29回

1月19日(土)

第30回

2月16日(土)

10時 ~ 11時

あたごプラザ

ももの部屋

市政相談・お問い合わせ

お気軽に



上甲誠市政相談所

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール [mac@j.zaq.jp](mailto:mac@j.zaq.jp)

後半は、実に1年3か月ぶりでありました一般質問の内容をお伝えします。

今回は「子育て拠点整備」についてと、「市長の市民との約束(2年前、就任時の所信表明や選挙公約)」について、この2点です。

子育て拠点整備の白紙撤回とは?

「保育所・幼稚園7施設の改修による耐震・安全構造化」と「跡地の処分」の二つのことである。ということとは、まだまだ「道半ば」ということになります。

子育て拠点整備の財政シミュは?

子育て拠点整備の財政シミュレーションはまだできておらず、これから保育ニーズと児童数を把握し、それと並行して財政シミュレーションを算出していきたい。

この財政試算ができていない状態での議会が何を議論するのか、大変疑問です。

財政シミュの結果?

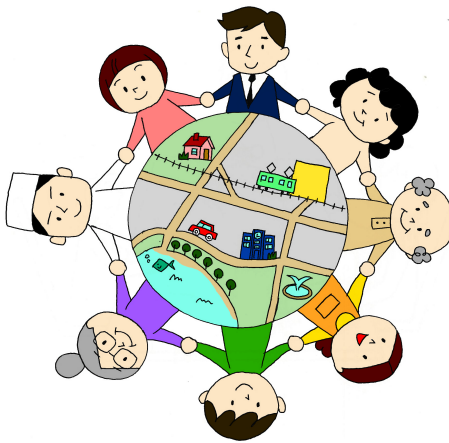
現在、市から子育て拠点を尾崎、はあとり、まい、下荘の4拠点化計画が発表されています。(広報はんなん12月号参照)

前述通り、「財政シミュレーションはこれから」ですが、もし財政が悪く出たり、市民に納得いただけなかった場合、4拠点化を見直すのか?と市長に問うと、「現在は財政再建に取り組んでおり、この4拠点案の方向の中で仕立ていく」という答弁でした。

小さなコミュニティ

市長の所信表明や「水野メソッド」でうたわれています。「旧小学校地域の小さなコミュニティ」の構築について、平成29年度に山中溪・桃の木台地区をモデルに調査研究を行いました。結局、今年度も含めて、遅々として進んでいません。

私は、各地域はこれまでも、その歴史や特性に沿って成長をしてきたので今さら「旧小学校区単位でまちづくり」と言われても地域に混乱を持ち込むだけになると考えています。地域に寄り添ったまちづくりが必要です。



ガラス張りの行政運営

これは皆さんに問います。最近、政策決定過程が分かり易くなりましたか?

1月下旬から「市長タウンミーティング」が市内6か所で開催されます。内容は行財政構造改革の取組、旧家電量販店建物の売却、子育て拠点の再構築などです。皆さんには積極的に前向きな意見交換をよろしくお願いします。

財政再建化計画二つの約束と行財政構造改革プランでの赤字について

昨年の財政再建化計画から「平成31年度決算において(単年度)黒字を堅持」

「財政調整基金(市の貯金)を取り崩さない財政運営」と約束していたものが、今年の行財政構造改革プランでは「全くできず」大きく赤字が膨らんでいる、これに対して市長は「プランの中の空白が埋まると平成34年度の実質赤字は生じさせない」と答えましたが、そもそもその単年度黒字はどこへ行ったのでしょうか?

種々たくさん書かせていただきましたが、総じて、市民皆が関心をもって「まちづくり」を進められるように、これからも情報受発信に努めてまいります。

旧家電量販店売却について  
報道の通り、先般行われた旧家電量販店の入札は不調に終わりました。これから来年度予算に向けても早い解決が必要

最後までお付き合い合いました。ありがとうございます。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて今後ともよろしくお願いします。